

BCAO 関西支部 第 33 回支部勉強会 議事録（案）

1. 概要

（1）日時：2009 年 7 月 15 日（水）18：45～20：30

（2）場所：株式会社 大林組 4 階 AB 会議室

（3）座 長：加瀬（大阪科学技術センター ATAC）

（4）書 記：中川（アシックス）

（5）出席者：19 名（順不同・敬称略） 中川（アシックス） 守谷（神戸市消防局） 松本（日本工営）
加瀬（大阪科学技術センター ATAC） 川口（船井電機） 佐原（鈴与） 田中（グリコ栄養食品）
西濱（西濱防災ネット技術） 速水（大阪地下街） 藤村（竹中工務店） 柳父（大阪ガス）
日下（住友電工） 中居（銀泉リスクソリューションズ） 荒二井（日本気象） 西牧（大林組）
寺西（ストアジャパン） 角（日本建築総合試験所） 萩原（大林組） 前田（富士火災）

（6）議題

1）勉強会のテーマ

「工場・倉庫の火災危険と対策」 守谷（神戸市消防局）

2）意見交換会

建設業の「防災訓練の実例紹介」 藤村（竹中工務店）

製造業の「防災訓練の実例紹介」 日下（住友電工）

2. 議事内容

1）勉強会：守谷氏から提供された資料「工場・倉庫の火災危険と対策について」

（注：近日 HP に資料が公開されるので特に引用についての注意はなかった）

配布された資料に基づき平成 21 年 6 月 1 日に発生した火災現場での被害からの天井パネル材として使用している発泡ポリウレタンサンドイッチパネルの危険性について説明。関係の業界団体を通じて情報を流していく予定
主な質問事項

質問：本建築材を使用することに関して、法的な違反はなかったのか？

返答：法的な違反事項はなかった。

出火もとの焙煎器（電気式）の使用、防火区画の問題も工場として満たしていた。

質問：既存の建屋で使用しているかどうか簡単に判別できるのか？

返答：設計・施工図面で確認する方法がある。

質問：消火活動前にどの程度の事前情報を消防として持っているのか？

返答：工場や倉庫の情報は少ない

質問：同じことを繰り返さない為に何が必要となるか？

返答：このようなパネルを使用する時には、断熱効果を多少犠牲にしても延焼防止策をとるべき

表面が金属材料であっても不燃材料とはいえないものがある。

意見：関係業界に対して情報を発信して注意を喚起する場合、建材の種類は多種あり、表現には十分注意を払って

行う必要がある。

2) 意見交換会

2)-1 藤村氏から提供された資料「(社)日本建設業団体連合会の建設BCPガイドライン」にて 建設業界の特長について説明された。別途、HPで公開されている<東海地震並びに東南海・南海地震を想定>事業継続計画書(BCP)に基づく震災訓練の事例を紹介された。

HPアドレスhttp://www.takenaka.co.jp/news/pr0802/m0802_01.html

- ・2006年に導入された、安否確認はほぼ100%機能した。但し、訓練実施は土曜日であった。
- ・災害対策本部に情報が集中するためその受信容量が問題となった。

質問：お客様の施設の被災状況を評価し使用可能かどうかの判断は大変ではないか

返答：有資格者がすばやく行う必要があり、お客様に資格の取得を勧めている。

質問：建設ガイドラインでは、水害については議論されているのか？

返答：されていない

2)-2 日下氏から配布資料の「事業継続のための訓練ご紹介～まず地震・火災から～」に基づき製造業における訓練の事例が報告された。

質問：夜間訓練の参加者は？(夜間訓練参加者3,840名、昼間訓練参加者15,615名)

返答：本社は対策本部要員が、各拠点は夜勤の部署のみの参加で実施している。

質問：訓練実施に関する制約を紹介しているが、その制約で出来ない訓練についてはどの様に評価しているのか？

返答：「操業に影響を与えない＝お客様に迷惑をかけない」原則があり、その面で訓練の限界は感じている。

(要員参集に始まる通し訓練、参加者の意識向上、シナリオの工夫など必要)

質問：海外の企業はどのようにしているのか？

返答：日本と異なる対応だと思います。国により事業継続に影響するリスクが異なるので違うと思います。

例えば、米国ではテロ対策などが重要視されている。

2)-3その他

意見：訓練を行うことが非常に重要だと思う。安否確認の訓練では3回目であまりいい経験を持っている。

訓練で全てをシミュレーションするのは困難である。

訓練を企画できる人材を増やすことが大切、訓練の企画をすると災害対応の実態がよく理解できる。

3. 次回の関西支部会合・勉強会

日時：8月19日(水) 18:00～20:30 場所：アイアイジェイテクノロジー

担当：支部会合 (座長)小川 (書記)日下 勉強会 (座長)安藤 (書記)未定

以上